



シイタケ生産促進事業

他市と比べて日田市の条件は厳しい

5日、臨時市議会が開催され、決算審査特別委員会の委員長報告で、シイタケ生産促進事業については、補助要件の見直しを求めることが議決されました。

大分県のシイタケ生産量は全国トップで、特産品となっています。しかし近年温暖化が進み、また生産者の高齢化や減少でシイタケ生産量も減少しています。

県内各自治体の独自の支援策は、左記の表のようになっています。日田市の制度は他自治体の補助条件と比べて厳しい条件となっています。

市のシイタケ生産促進事業の23年度予算300万円にたいして、約3分の1の予算額が残り不要となりました。その主な理由は、市の補助条件を厳しくすることを議決しました。

市町村単独シイタケ種駒助成状況

※資料を一部を加工して記載しています。

市町村名	補助要件			
	金額（円）	基礎控除	補助上限額	主な要件
日田市	1円/駒1個	2万駒	12万円	5万個以上植菌する者、うまみ茸登録者、過去3年平均の駒数より増えていること、翌年度増産すること
九重町	①0.5/駒(10万駒以下) ②1/駒(10万から20万) ③0.5/駒(20万1駒以上)	控除なし 全量対象	なし	2万駒以上植菌する者
玖珠町	最大1.5/駒 (予算の範囲内)	3万駒	なし	3万駒以上植菌する者
国東市	1.5/駒(低温) 1/駒(中温)	控除なし 全量対象	なし	2万駒以上植菌する者
大分市	1/駒	2万駒	なし	市内生産者
由布市	1/駒	2万駒	20万円	市シイタケ生産協議会員
豊後大野市	①1/駒(5万駒未満) ②1.5/駒(5万駒以上10万駒未満) ③2/駒(10万駒以上)	1万駒	なし	1万駒以上植菌する者
宇佐市	1/駒	2万駒	なし	2万駒以上植菌する者

決算審査特別委員会の委員長報告

補助要件の見直しを求める

耐震改修促進事業は県と協議し改善を

能登半島地震を教訓に耐震診断と改修を促進することが重要となっています。日田市には1981年の耐震基準以前の建物約7千数百戸あります。2022年度4件、2023年度7件の耐震診断の補助事業の活用はありますが、両年とも耐震改修は1件もありません。

23年度は470万円の予算に対して、診断の75万5千円の活用で、約400万円は活用されていません。大谷市議は、県内各自治体でも活用が進んでいないことから、県と協議し補助率の増額やリホーム助成事業の見直しを県に働きかけるよう、決算審査の中で要望しました。

